

平成30年度の活動を振り返って

本年度もあとなわずかとなりました。「平成最後の・・・」と言われた今年度。各学校におかれましては、地域の特色を生かしたESDの実践に取り組まれたと思います。今号では、本市の1年間の主な取組を振り返ります。5月からは、新しい元号となります。新年度も「大牟田は一つ」を合言葉に、がんばっていきましょう！

☆文部科学省「グローバル人材の育成に向けたESDの推進事業」

を受け、以下の2つの内容について取り組みました。

○ SDGs/ESD教育委員会コンソーシアムの形成

SDGs/ESDを推進する教育委員会とのコンソーシアムを形成し、交流を図り全国のESDのさらなる発展と深化を通じたSDGs達成への貢献。

○ ESDマスターティーチャープログラムの開発

SDGs/ESDを推進する国内の関係機関・団体等と連携して、学校現場でのSDGs/ESDの推進・指導等を担う教員を養成するプログラムの開発。

☆ユネスコスクール・ESD全国実践交流会in大牟田

8月に行われた今回の交流会では、若い先生方の参加や発表が増えました。大牟田の実践も広く裾野を広げていくことが今後、求められています。今後も、若い先生方の精力的な実践を期待しています。

本市の教育論文にも若い先生方のESDに係るものが増えてきています。

キラリ発進！ サステナブルスクール

吉野小学校の取組が 紹介されました！

ACCU(ユネスコアジア文化センター)は、全国24校をESD重点校と位置付けて支援しています。ESD重点校として認定を受けた学校は「サステナブルスクール」と呼ばれ、周辺の他の学校や地域・家庭を先導してESDの深化に寄与することが期待されています。大牟田市からは、吉野小学校がサステナブルスクールとして活動をしています。吉野小学校は、「サステナブルスクール」の取組を通して、

①地域の「ひと、もの、こと」のつながりを活かした地域との連携をもとに教育活動を積極的に進めること②児童が地域のあたたかさにもまれて育っていること③学校全体で吉野の活性化のためになる活動が続けることが可能になっていることを成果として挙げています。今後は、達成感のある活動とするために、定期的なデザインシートやESDカレンダーの評価、改善を行う予定としています。



大牟田市立三池小学校の実践

「地域体験学習」を通して

三池校区には、多くの史跡や文化財があります。そこで三池小学校では、総合的な学習の時間に校区の史跡を巡る「地域体験学習」を実施しています。学年別に巡る場所を決めて、三池地区にあるたくさんの史跡を学習し終えるようにしています。例えば、4年生は、「寿光寺」「三池典太屋敷跡」「景行天皇史跡」「高田行宮跡」など、三池の歴史を学ぶ会の方をGTに招いて、詳しい説明を聞きながら史跡を巡ってきました。さらに見学し学んだ場所についてカルタを作り、みんなで遊ぶことで多くの三池の良さを感じとりました。ふるさと三池の歴史や伝統を学び、三池地区のひと・もの・ことよさと地域への愛着を深める事ができました。



大牟田市立駛馬小学校・宮原中学校・福岡県立三池工業高校の実践

地域のシンボルタワー～駛馬小・宮原中・三池工の連携を通して～

宮原中学校の校区には、世界文化遺産「宮原坑」があり、国内外から多くの方々がおみえになります。まさに、校区の「シンボルタワー」です。宮原坑を盛り上げていくために、駛馬小・宮原中・三池工業高校の3校がスクラムを組んで頑張っています。11月の「ヤマの祭典」では、モルタル文鎮を作成しました。このたび、三池工業高校土木科の生徒の皆さんが、木材で「プランターケース」を製作し、宮原坑へ寄贈されました。このプランターケースに駛馬小、宮原中の子どもたちがデザインペインティングを行い、花苗を植えて栽培し花を咲かせる予定です。今年度、三池工業高校がユネスコスクールに加盟し、この3校のスクラムがますます強力なものになるように連携を進めていきます。

